

くらしやすい町を目指して 町民の声から



質問者
中野 博 議員

① その後、買い物弱者対策は検討されていますか？

② 町営住宅の空家対策は？

③ 小・中学校の成績表の誤りが発覚し、大きな問題になっているが、我が町においては？

A スーパー誘致は苦戦している
回答（町長・教育長）

① これまでに、3店のスーパーに誘致を打診したが、県道への接続や面積等の問題で不調

に終わった。引き続き打診していくが、難しい点が多い。

駅前のコスモス館

は、生鮮野菜を中心に活況であるが、品揃えが少ない。町としては、商店として取り扱う品数の拡充などについて支援していく。

② 現在113戸中、23戸が空家になっている。耐用年数を過ぎた住宅

少子高齢化が一段と進行しています。第5次総合計画の中で、人口増加対策として、定住化促進の方向性が示されました。若者世代が安心して子

は、老朽化・防災上の考えから早急に取り壊し、更地にして有効利用していく。また、借地は地主へ順次返還していく。

③ 松田町の小中学校では、現在のところ通

定住化対策を問う



質問者
小澤 啓司 議員

知表の記載ミスはない。記載ミスの主な原因は、転記ミスなので、他の教員を交えたチェック体制を強化し、絶対にミスのないよう徹底していく。

育てに取り組めるよう、環境整備が必要と考えますので、下記につきお尋ねします。

① 子育て世代の定住化を促進するために、購入しやすい土地や住宅の確保はどのように進めますか。

② 0歳児保育など子育て施設は、どのように充実させますか。

③ 日用品や生鮮品・本屋・ガソリンスタンドなど、商店が減少しています。買い物環境を

向上させるために、どのような対策をお持ちですか。

A 住みやすい環境整備に努めます
回答（町長）

① 住宅取得促進奨励金制度を新設し、住宅の建築や購入・若しくは二世帯住宅への増改築に対し、費用の一部を負担する。さらに、空家バンク制度を立ち上げ、町内



新築住宅には取得促進奨励金を交付

賃貸物件の利用促進を図る。

また、県や町の遊休地を活用し、良好な住宅用地を提供したい。

② 長年、保育をお願いしていた立花愛児園が、平成25年3月で閉園するため、建物や敷地を町で購入し、新たな事業者運営を委託したい。

③ スーパーの誘致を計画したが、立地条件などで実現できなかった。当面は、商工振興会が実施している宅配サービスや朝市、コスモス館の野菜直売など、住民の利便性に向けた取り組みを積極的に支援する。